

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルフレいなぎ 児童発達支援事業所			
○保護者評価実施期間	2024年10月15日		～	2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	2024年10月15日		～	2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月24日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの発達段階に応じた多様な遊びや活動を提供し、子どもたちが自ら“やってみよう”と思えるように工夫している。また、子どもたちにとって、安心して楽しめる場所となっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが興味関心を持っているものをその都度遊びや活動に取り入れている。</li> <li>遊びのエリアを分けること、イメージを共有しやすいような環境を設定するなどし、子どもたちが主体的に遊べる工夫をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて少人数で遊びや活動を提供するなど、より発達段階に合わせた遊びや活動を提供する。</li> <li>公園など地域の社会資源も活用しながら、より多様な活動を提供する。</li> </ul>
2	子どもたちが通う幼稚園や保育園との情報共有ができています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関連携加算を活用し、子どもたちが通う所属園に訪問し、情報共有を行っている。</li> <li>必要に応じて、保育所等訪問支援事業の利用につなげている。</li> <li>保育所等訪問支援事業を利用している場合は、担当者間で情報を共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての幼稚園・保育園に訪問できていないため、子どもたちが通うすべての所属園への訪問を目指す。</li> </ul>
3	職員間の連携や相談がしやすい職場環境にある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃から職員間での情報共有や相談を大切にしている。</li> <li>振り返りや会議では、グループ担当者以外の意見も聞くようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、相談しあえる関係性を大切にし、さらなる支援の質の向上を目指す。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時の対応について、各種マニュアルは作成しているが、定期的な見直しや保護者への周知がなされていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアルの見直し時期を定めていないこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのマニュアルの見直し時期を定める。</li> <li>マニュアルの見直しとともに、「コドモン」の資料室に公開し、保護者に周知する。</li> </ul>
2	保護者支援として、勉強会や交流会、ご家族が参加するイベントを実施しているが、参加者は少なく、交流を深めるには至っていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者交流会はあらかじめテーマを設けていないため、参加しにくさがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流会ではあらかじめテーマを設けることで、参加しやすいように企画する。</li> <li>ご家族も参加できるイベントを年2回に増やす。</li> <li>ルフレだよりにて、子育て等に関する情報やコラムを掲載し、保護者への情報提供の機会とする。</li> </ul>
3	子どもたちが所属している園には、必要に応じて訪問をし、情報共有をしているが、併用している他事業所との情報共有は不十分である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別支援計画書や支援内容の共有ができていない。</li> <li>セルフプランの利用者がほとんどであるため、サービス担当者会議の開催がなく、情報共有の機会がないこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>所属園への訪問や保育場等訪問支援事業担当者との連携などは継続して行っていく。</li> <li>保護者を通じ、個別支援計画書の共有や支援プログラムの内容を共有する。</li> <li>保護者の希望や必要に応じて、他事業所と直接情報共有等を行う。</li> <li>事業所間連携加算を活用する。</li> <li>学習会の実施や社会資源の一覧等を整理し、職員が地域の社会資源について学ぶ機会を設ける。</li> </ul>